

地域と協働 環境保全社会貢献活動

岐阜トヨペットは経営理念で「社会に役立つ活動を通じ、地域に貢献できる企業を目指します」と掲げています。自動車販売店として地域の皆様やお客様と共に、環境保全活動や交通安全教育・支援応援等、幅広い分野での活動を積み重ねてきました。これからも、地域の方々やお客様から、岐阜トヨペットがあって良かったと言われる企業を目指し活動していきます。



岐阜トヨペットは地域を支える寄り添う店舗を目指しています

近年の大きな災害が毎年発生している中、岐阜県内地域で災害が発生した時に少しでも地域の方のお役に立てるように準備を進めています。災害備蓄品も用意して万が一の時に災害拠点として役立てるようにしています。

全拠点AEDの設置

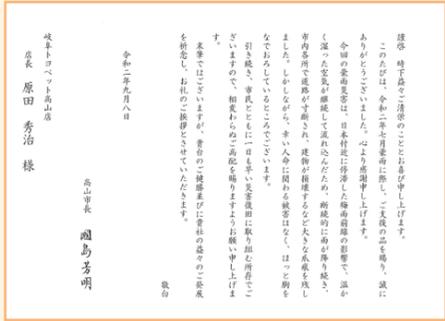
岐阜トヨペットでは、お客様や地域住民の方の、万が一に備え、AED(自動体外式除細動器)を全事業場に設置しています。全事業場の社員がAEDの使い方を学んでいます。新入社員研修では、消防署の方に来ていただき「普通救命講習」受講し、心臓マッサージの仕方やAEDの使い方を学んでいます。



AED(自動体外式除細動器) 心臓マッサージを学ぶ社員

災害備蓄水

全国トヨペット店の「セーフティキャンペーン」の取り組みとして、災害に備え、販売店全店舗に保存水を備蓄しています。災害発生時、被災地に保存水を供給することで、地域になくはならない販売店をめざしています。2020年7月に、飛騨地域を襲った豪雨災害では、下呂市小坂地域や高山市朝日町へ保存水を社員が直接届けました。隣県の販売店にも協力いただき保存水を現地に送っていただきました。今後も、被災され困っている方を積極的に支援していきます。3日間で下呂市、高山市へ167ケース約 2,000本の備蓄水をお届けしました。



高山市長様より感謝状をいただきました

災害時地域支援店舗

岐阜トヨペットでは各事業場に非常用の食料や備蓄水、電源リール、簡易トイレ、ヘルメットを保管し、社員ならびに地域で被災された方のために備えています。ハイブリットの試乗車にはAC電源のオプションを付けて電源車として電気を供給できるようにしています。



非常用食料やヘルメット



大垣北店 棚瀬店長

災害ボランティア活動

2019年は台風の上陸が多く、特に2019年10月12日に上陸した台風19号が日本各地に大きな洪水被害を引き起こしました。隣県の長野県では千曲川が氾濫して県北部地域に大きな被害をもたらしました。10月20日から、のべ8日間社員がボランティアとして現地に入り復旧のお手伝いを行いました。2020年7月にも豪雨では、岐阜県内にも大きな被害があり、下呂市、高山市の被災地に社員が災害復旧や警戒活動のボランティアに参加しました。



災害復旧ボランティアの様子

岐阜トヨペット株式会社
内部統制グループ スペシャリスト 橋本 千尋 様

最善の策 実践におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、下呂市に於いて格別のご厚意を賜りお礼申し上げます。さて、7月5日から降り続いた豪雨により国道41号が断絶。JR高山線の不通、岐阜市の浸水などの被害が発生しました。幸いにも人命に被害はありませんが、交通網が麻痺し家屋の倒壊など市民生活へも多大な影響を及ぼす大被害となりました。

この間、皆様方から心温まるお見舞いや方強い応援のお言葉を頂戴し、真心より感謝申し上げます。

災害復旧においては、各方面から多大なご支援をいただき、市民生活の改善を促してくださる関係者の方々に感謝いたします。迅速な対応に努めておりますが、これも皆様方のご協力を得ながら災害復旧に向け全力で取り組んで参ります。

皆様方から頂戴いたしましたご厚意は私共下呂市民にとりまして、とても大きな心の支えとなりました。このことを決して忘れず、合せて以上に希望される下呂市づくりに邁進いたしますので、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年7月豪雨をもたらした長い梅雨明け、以後暑い日が続いております。皆様方には、くれぐれもご自身の健康管理にお祈り申し上げます。まずは暑中ももまして御礼申し上げます。

誠にありがとうございます。

令和2年8月7日
岐阜県下呂市長 山田 登

下呂市長様より感謝状をいただきました

お客様や地域の方が集えるコミュニケーションスペース

せっかくきていただいたお客様に少しでも「くつろいでほしい」「そんな思いでお店づくりをしています。クルマが目的のお客様だけでなく地域の方にもふらっと立ち寄っていただけるそんなお店を目指しています。



お客様にくつろいで過ごしてもらえようようにカフェスペースを設けています。

お母さんと赤ちゃんのために授乳室を設けて安心して過ごせるスペースを積極的に取り入れています。

赤ちゃん連れの方やハンディキャップのある方も使用できるように多目的トイレを用意しています。

車いすやベビーカーでも店舗に段差なしで入店できるようにバリアフリー化を進めています。

すべての店舗にPHV、電気自動車に充電できるG-ステーションが設置してあります。

環境保全トピックス

● 環境にやさしい袋の導入

お客様にカタログ等をお持ち帰りいただく手提げ袋を環境負荷の少ない生分解性ポリエチレンに変更しました。プラスチックを少しでも減らすために土にかえる生分解性の袋を使用し自然環境を守る運動をしています。

● 紙ストローへの切り替え

プラスチックの廃棄が海洋汚染や動物の生態系にも大きな影響を与え世界で大きな問題になっています。岐阜トヨペットではお客様に呈茶の際のストローを紙製に切り替え、環境に配慮しています。

生分解性ポリエチレン袋

紙ストロー